

SICF13 グランプリアーティスト展 佐野景子『空気のしわざ』

会期：2012年10月27日(土)～10月29日(月)

会場：ショウケース (スパイラル 1F)



『声の風船』 (2012)

W430×H320×D190mm/ガラス

Photo:青木遥香

息を吹き込んで形を形成する吹きガラスで作られた「吹き出し」。
技法を生かし、空気の存在をユーモラスに表現。

開催概要

SICF13 グランプリアーティスト展 佐野景子『空気のしわざ』

会 期	2012年10月27日(土)～29日(月)	11:00～20:00	入場無料
会 場	ショウケース (スパイラル 1F)		
お問い合わせ	03-3498-1171 (スパイラル代表)		
主 催	株式会社ワコールアートセンター		
企画制作	スパイラル		

取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター 広報部 瀧本恵理、加藤美穂

TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

E-mail press@spiral.co.jp <http://www.spiral.co.jp/>

展覧会概要

スパイラルでは、SICF13のグランプリ受賞者、佐野景子による個展『空気のしわざ』を2012年10月27日(土)~29日(月)にショウケース(スパイラル1F)で開催いたします。

佐野景子は自分の息が形となる吹きガラスの面白さに気づき、空気や息、音などの目に見えないものをガラスで表現する作品を発表しています。吹き出し型のガラスオブジェ『声の風船』は「音とは空気の振動であり、息という自分から出た空気で作った形が空中で揺れることで、声を表現出来るのではないか。」と考え制作され、そのダイナミックでユニークなカタチは多くの来場者の心をとらえました。見た目の軽快さとは裏腹に実際は重いこの作品は、軽やかさと同時に重みや危うさを持ち合わせる言葉の特徴を換言しているようにも見え、現代を生きる世代が持つ言葉の威力や緊張感を感覚的に表現しているかのようです。色も形もないものをガラスという素材を使用し可視化させたとき、その表現の純粋さ故に、見るものは自然と微笑みを浮かべてしまいます。

今回、スパイラルで行われる個展では、SICF13 グランプリ受賞作品に加え、息そのものが作品となる可能性に挑戦し実際に佐野の「一息」が込められた『私の一息』や、空気の有無を改めて気づかされる実験的な試みの作品など、新作が多数登場します。瑞々しい感性で作られる作品の数々は、私たちの日常に新鮮な視点を与えてくれます。

この機会にぜひ本展の取材、掲載をご検討くださいますようお願い致します。

作家紹介

■ 佐野景子(さのきょうこ)略歴■

1985年生まれ。静岡在住。

2007年 武蔵野美術大学 造形学部 工芸工業デザイン学科卒業

2009年 富山ガラス造形研究所 研究科修了

〈主なグループ展〉

2011年 第4回現代ガラス大賞展 富山 2011

2009年 ガラス教育機関合同作品展

〈主な受賞歴〉

2011年 第4回現代ガラス大賞展 富山 2011 優秀賞 受賞

2011年 グランシップアートコンペ 奨励賞 受賞

2009年 富山ガラス造形研究所 卒業制作優秀作品賞 受賞



Photo: 市川勝弘

■ 作家コメント■

ものやかたちの作り方、作られ方が無数にある中で、吹きガラスという方法は、唯一「空気」や「自分の息」が直接かたちをつくることのできたいへんユニークな技法です。そんな当たり前の面白さへの気付きをきっかけに、自分の息が持つ可能性や、空気自体が存在すること／しないことで起こる日常での出来事、空気というものが含む解釈の幅や奥行き、いろいろなことが気になってきました。今回の展示では、日常にある「空気のしわざ」を、私のちょっとしたイタズラとともに展示いたします。

■ SICF13 出展作品■



左：『声の風船』
(2012)
W300×H350×D60mm
/ガラス

Photo: 青木遥香

右：『息のかたち』
(2012)
W900×H350×D40mm
/ガラス

■ SICF13 審査員コメント ■

浅井隆 有限会社アップリンク社長、webDICE 編集長、プロデューサー

ちょっと重そうなガラスが「ふうー」と軽く見えた。透けて見えるあなたの言葉、透けて見えるわたしの気持ち、を感じさせてほしい。

佐藤尊彦 ビームス販売促進本部プレス

繊細な技巧によって、“カワイイ”フォルムを作り出し、現代の感覚が自然に表現されていた作品からは、今の日本人の一つの側面が見事に表現されていた。今の時代を生きる世代としての感覚をガラスで表現できる、その可能性の幅を楽しみにしています。

紫牟田伸子 編集家 プロジェクトエディター

吹きガラスの手法である「吹く」を「吹き出し」にしたアイデアが良いと思った。透明の吹き出しにはどんな言葉が乗るのだろうか。言葉とは軽やかでもあり、重たくもあり、脆くもあるのだろう。軽やかな見た目と、実際は重たいというギャップもおもしろい。

南條史生 森美術館館長

ガラスという素材、技法を使いながら、通常と違う表現に挑戦している点を評価した。力が入ると言うよりも、肩の力を抜いたような主題単純な見え方、ひょうきんさ、軽やかさが良い。ガラスらしくないといってもいいかもしれない。限界を超えるところに新しい可能性が開けるだろう。

岡田勉 スパイラルチーフキュレーター

従来、工芸、プロダクトの範疇で捉えられがちな「吹きガラス」という素材手法のなかに、コンテンポラリーアートのアイデアを盛り込んだ点がユニークで新鮮であった。硬く冷たい素材イメージを持つガラスに、柔らかなイメージを持ち込んだ点にオリジナリティと今後の展開への期待を持った。

参考資料

■ 佐野景子 過去作品 ■



左：『Playing Children』(2008) W350×H310×D150mm /ガラス

中央：『Harmonics』(2008) W1800×H900×D150mm /ガラス

右：『水中バランス』(2008) W300×H300×D300mm /ガラス、水、アクリルボックス

■ 佐野景子最新情報 ■

「富山市新収蔵ガラス作品展」

会場：トヤマ グラスアート ギャラリー 富山市大手町6-14 富山市民プラザ2F

会期：2012年10月15日（月）～2013年4月まで 10:00-18:00 無料

展示作品：「Playing Children」

富山市が将来のガラス美術館建設を視野に入れ、国内外のすぐれたガラス作品の収集に力を入れてきたコレクションから、平成23年度新たに収蔵した作品を紹介する展覧会。単純な形や色、バランスや動きを組み合わせることによって「ガラスの音」の表現を試みた作品を展示します。

参考資料

■ SICF13 各賞受賞者 ■

準グランプリ 高崎紗弥香 (<http://sayakatakasaki.blog105.fc2.com/>)

準グランプリ ひしたにくるみ (<http://hishitanikurumi.web.fc2.com/>)

オーディエンス賞 大野洋平 (<http://www.ohnoyohei.com/>)

浅井隆賞 齊藤千尋 (<http://www3.ocn.ne.jp/~chihiro/501.html>)

佐藤尊彦賞 GORO (<http://www.kojitakayanagi.com/>)

紫牟田伸子賞 イワサキチヒロ (<http://rorororoom.exblog.jp/>)

南條生史賞 悠 (<http://ichirosai.ame-zaiiku.com/>)

スパイラル奨励賞 城崎郁恵

NEWS!

SICF13 グランプリアーティスト展 同時期開催
ジ・アートフェアズ：+プリュスーウルトラ

若き才能が競い合う「ウルトラ」、新しき伝統を謳う「+プリュス」。この秋、2つのアートフェアをスパイラルで同時期開催！！

■ エマージング・ディレクターズ・アートフェア：ULTRA005

会期：Oct.side 2012 年 10 月 27 日（土）～10 月 30 日（火）11:00～20:00

Nov.side 2012 年 11 月 1 日（木）～11 月 4 日（日）11:00～20:00

会場：スパイラルガーデン（スパイラル 1F）

入場料：無料

■ +プリュス：ジ・アートフェア 003

会期：11 月 2 日（金）～11 月 4 日（日）

会場：スパイラルホール（スパイラル 3F）

入場料：1000 円（1 ドリンク付き）

主催・企画制作：「システム：ウルトラ」（スパイラル／株式会社ワコールアートセンター、株式会社レントゲンヴェルケ）

お問い合わせ先：info@systemultra.com

NEWS!

SICF14 参加クリエイター募集日程が決定！

2013 年 5 月 3 日（金・祝）～6 日（月・祝）に開催する SICF14 の参加クリエイター募集日程が決定しました。自由な感性で質の高い創作活動を行う若き才能を募集します。

■ 募集要項配布開始 2012 年 11 月 1 日（木）

■ 公募期間：2012 年 11 月 1 日（木）～ 2013 年 2 月 28 日（木）

■ SICF14 開催日程：2013 年 5 月 3 日（金・祝）～6 日（月・祝）

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル

募集に関する新着情報は SICF ウェブで随時お知らせ致します。

公式ウェブサイト：SICF ウェブ <http://www.sicf.jp>

公式フェイスブック：Sicf jimukyoku

公式ツイッター：SICF Twitter @sicf_jp



Photo: 市川勝弘